

# 石川県漁海況情報



446号  
2020年3月13日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324  
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>  
携帯電話 [http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu\\_files/p-index.html](http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html)



## 本号の概要

### 調査船白山丸のアマエビ調査結果（期間：1月16日～18日）

- 2018年生まれの2歳エビはかなり多く採集されました。
- 現在の好漁が今後も継続することが見込まれます。

### サヨリの漁況の見通し（期間：3月～5月）

- 船びき網等によるサヨリの水揚量は、近年低水準で推移しています。
- 主要港におけるサヨリの水揚量は前年並みで過去5年平均を下回る見込みです。

## 調査船白山丸のアマエビ調査結果（期間：1月16日～18日）

■ 調査船白山丸は1月16～18日に金沢沖の水深375～500mの海域でアマエビ（標準和名：ホッコクアカエビ）の分布量調査を行いました。この調査は冬期と夏期の年2回実施しており、金属枠に袋網をつけた漁具を30分間曳網し、今後漁獲対象になる小型エビ（若齢エビ）の資源量を調べています。

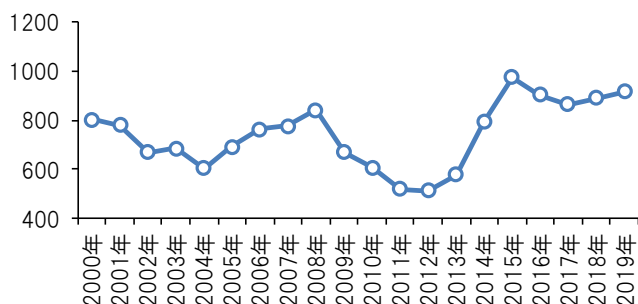
■ 2歳エビ（2018年生まれ）は1曳網当たり292尾採集されました。この採集尾数は資源量が多かった2010年生まれには及ばないものの、近年の豊漁を支えている2014年生まれよりも多く、2018年生まれは卓越年級群である可能性が高いと考えられます。

■ 今年のアマエビの県内漁獲量は、豊漁であった2015年よりは減少したものの、高水準を維持しています。近年の高水準の漁獲は卓越年級群である2014年生まれに支えられており、今後も継続すると考えられます。

冬期調査における年齢別アマエビ採集尾数（尾/網）

調査年	2歳	3歳	4歳
2010年	99	8	90
2011年	82	134	42
2012年	384	64	75
2013年	183	256	81
2014年	95	248	265
2015年	88	225	247
2016年	219	16	87
2017年	77	226	72
2018年	10	68	121
2019年	115	65	76
2020年	292	71	87

単位(トン) 主要10港のアマエビ漁獲量



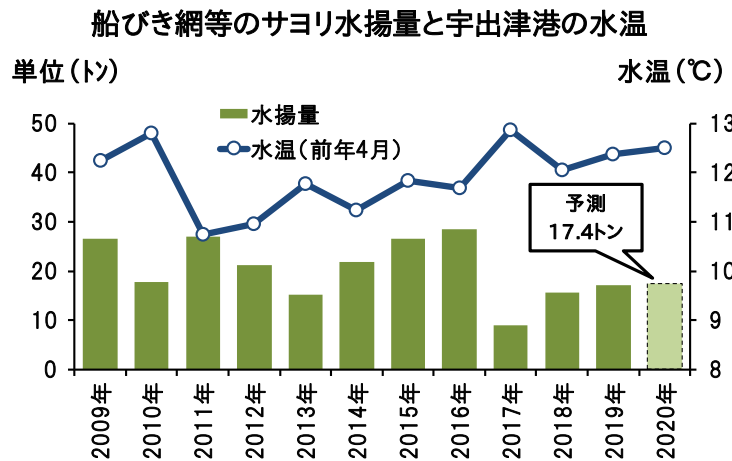
## サヨリの漁況の見通し（期間:3月～5月）

■ 石川県では、季節を代表する水産物を「石川の四季のさかな」とし、春の魚としてサヨリを選定しています。サヨリは主に2隻の船で網を曳く船びき網により漁獲され、主漁期は3～5月です。

■ 県内主要港の3～5月の船びき網等によるサヨリの水揚量は、1998年には163トンありましたが、その後減少し、2010年以降は10～30トン程度で推移しています。

この長期的な水揚量の減少の主な理由としては、操業隻数の減少があげられます。一方、近年の水揚量の変動と沿岸水温（宇出津港内の水温）との関係を調べたところ、前年の4月中旬～下旬の沿岸水温が低いほど、3～5月の水揚量が多い傾向がみられました。

■ 昨年4月中旬～下旬の宇出津港の平均水温は12.5℃でした。この値を水温と水揚量の関係式に当てはめると、今年3～5月の主要港の船びき網等による水揚量は17.4トンと推定され、前年（17.2トン）並みで過去5年平均（19.4トン）を下回ると予想されます。



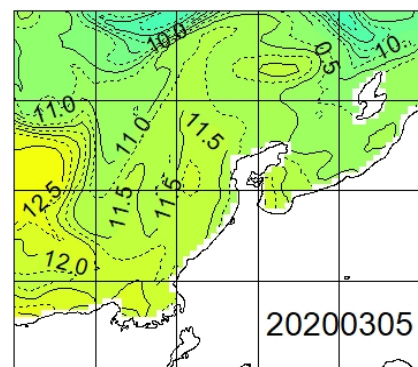
## 石川県周辺海域の水温（期間:3月1日～5日）

■ 沿岸の海面水温 3月5日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は10～11℃台であり、過去5年平均との差は+0.5～+1.0℃程度でした。

■ 沿岸観測ブイの水温 今期の水温は11.3～11.5℃で、2月中旬から約0.6℃低下しました。前年同時期との差は+0.0～+0.5℃、過去3年平均との差は+0.8～+1.0℃でした。

■ 港内の水温 今期の水温は10.6～11.8℃で、前年同時期との差は-0.1～+0.4℃、過去3年平均との差は+0.5～+1.3℃でした。

石川県周辺の海面水温



## 石川県主要港の水揚状況（期間:2月16日～29日）

■ 定置網 カタクチイワシ・スルメイカ・サバ・マイワシ・カワハギは前年を上回り、マアジ・マダラは前年並み、ブリは前年を下回りました。

■ まき網 サバ・カマス主体の水揚げで、前年を下回りました。

■ 底びき網・ごち網 ズワイガニは前年並み、アカガレイ・ニギス・アマエビは前年を下回りました。

■ 刺網・釣り・その他 ベニズワイガニ・ガンド・マダラ・アマエビ・ナマコは前年を下回りました。

集計期間 2月16日～2月29日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	期間合計	
									本年	前年
<b>定置網</b>										
かたくちいわし						58.1	131.6	249.7	439.4	33.7
するめいか						2.9	3.9	116.0	122.7	64.3
さば						0.1	17.9	28.9	47.0	7.2
まいわし						14.5	3.6	5.4	23.6	3.4
まあじ			0.0			4.1	5.3	6.4	15.8	14.9
かわはぎ(ウマツラ)			0.0			0.3	3.9	6.0	10.2	6.6
ぶり						0.1	7.5	2.0	9.5	52.3
まだら			0.6			0.8	3.1	3.6	8.2	9.5
やりいか			0.0			0.3	2.6	3.0	5.9	4.3
めじ(ウマガロ)						0.1	1.8	3.0	4.9	10.4
ふくらぎ・こそくら			0.0			2.3	1.8	0.0	4.2	1.6
すずき			0.1			1.1	0.3	0.6	2.1	0.5
うるめいわし						0.0	0.7	1.1	1.8	2.8
その他			0.3			39.3	15.1	7.3	62.0	18.0
合計			1.1			124.0	199.2	433.0	757.2	229.6
<b>まき網</b>										
さば		—	13.2			86.1	—		99.3	37.4
かます		—	29.1			37.6	—		66.7	
まいわし		—	4.4			0.0	—		4.4	
まあじ		—	2.0			1.2	—		3.2	0.6
その他		—	0.7			0.2	—		0.8	182.4
合計		—	49.3			125.1	—		174.4	220.4
<b>底びき網・ごち網</b>										
あかがれい		28.7	5.7	4.5	17.2	0.7		—	56.7	97.1
ふぐ類		0.0	0.2	10.0	21.4			—	31.6	15.4
にぎす		0.4	11.3	9.7	0.0		2.3	—	23.7	57.8
まだら		0.8	2.1	3.2	11.5	2.6		—	20.2	17.0
あまえび		0.3	0.8	11.2	5.4	0.0		—	17.7	29.7
ずわいがに		0.5	8.1	0.1	2.5	2.2		—	13.4	11.4
はたはた		3.2	2.1	0.7	1.1	1.5	0.3	—	9.0	30.2
そうはち		1.8	1.2		4.2	0.3		—	7.4	7.3
あんこう		0.3	0.3	0.6	2.6			—	3.7	6.7
その他		4.5	7.3	7.6	10.4	1.0	0.5	—	31.4	55.3
合計		40.5	38.9	47.6	76.3	8.3	3.1	—	214.8	327.9
<b>刺網・釣り・その他</b>										
べにずわいがに			23.7						23.7	29.9
がんど				0.0	15.6	0.2			15.8	31.8
まだら			0.0	0.2	0.0	2.3	6.6	1.7	10.9	21.6
あまえび				10.1			0.0		10.1	18.6
なまこ				0.0		0.2	8.4	1.1	9.8	16.3
ひらまさ		0.0		0.6	7.8	0.0	0.0	0.0	8.5	0.3
さわら・さごし		0.0	0.1		0.0	0.5	4.0	0.0	4.6	0.3
あからばちめ(ハツメ)					3.6			0.0	3.6	2.1
その他		1.7	1.3	4.9	12.0	2.4	9.5	7.8	39.5	76.7
合計		1.7	25.0	16.0	39.1	5.6	28.6	10.6	126.5	197.4
<b>総計</b>		<b>42.2</b>	<b>113.2</b>	<b>64.7</b>	<b>115.4</b>	<b>262.9</b>	<b>230.9</b>	<b>443.7</b>	<b>1273.0</b>	<b>975.3</b>

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計